

女性委員会セッション

テーマ

思いっきりバージョンUP!

～女性も青年も参加したい「魅力ある建築士会」とは～

運営 | 女性委員会

総合司会…筒井裕子
パネリスト…齊藤裕美
山本規子
事例報告…杉原尚子

連合会女性委員会 副委員長

北海道建築士会 鈴木深雪 | 福島県建築士会 小貫弘巳 | 茨城県建築士会 矢尾志津江 | 石川県建築士会
奈良県建築士会 高源真由美 | 徳島県建築士会 高橋由美 | 大分県建築士会
愛知建築士会

今回のセッションを開催するにあたり、本年6月に「会員増大に関するアンケート」を実施、全国の建築士会女性・青年会員354人と47都道府県事務局に回答を得た。「魅力ある建築士会」のためには、「バージョンアップする」にはどうしていくべきか、アンケートの結果報告とパネルディスカッションを会場とオンラインで行った。

「会員増大に関するアンケート」の結果報告

発表…石貫方子(連合会女性委員会 副委員長)

アンケート結果によると、女性・青年会員を増やすためには、講演会見学会などの事業開催や、懇親会・交流会、勧誘、声掛け等の回答が多くなっている。また、入会のきっかけには、仲間づくりや、知人友人にすすめられて、仕事の人脈づくり、などといった回答があった。建築士会に入会して良かったことは、人脈や仲間ができたという回答が最も多く、研修会参加費の割引が最も多かったメリットである。イベントに参加したことがある人の満足度は高めであることがわかった。次に取り組んでみたい活動は、子ども、学生対象事業、勉強会、セミナー、講習会。現状の士会への要望は、会員の平らな関係が最も多くなっている。次に多いのが建築士会をもっと知ってもらい、次にイベント研修交

流会などの開催となっており、負担にならない活動や、参加しやすさ、気軽に参加できるなどの回答が多かった。

パネルディスカッション 「魅力ある建築士会、バージョンアップへ繋がる」事例紹介

コーディネーター…齊藤裕美(北海道建築士会)

【事例1】愛知建築士会

愛知建築士会は、会員増強のため、学生対象の特別準会員の入会金と会費を無料にし、特別準会員による学生部会を立ち上げ、先生方との連携も広がり、学生の活動を後押ししている。さらに、若い世代へのアプローチとして、今まで同居の親族に限られていたファミリー会員の枠を、正会員の所属する会社・事務所に属する40歳未満の建築士に広げた。

【事例2】徳島県建築士会

徳島県建築士会では、会員数減少に対応するため、多様な参加の仕方を模索している。壮年部は、青年委員会を卒業した46歳以上のメンバーで構成され、予算をつけずにワークショップや委託事業等を行い、独自に収益を得ている。一方、シニア部会は、65歳以上全員参加の部会で、高齢者のためのバリアフリー研究会や住まいの終活セミナーなどを開催している。

【事例3】兵庫県建築士会

兵庫県建築士会女性委員会は、見学会の後にWEBで報告会・交流会を開催し、さらにその動画をYouTube配信することで、ひとつの事業に3度の機会をもたせ、より多くの会員が参加できるようにしている。高知県で開催された見学会では、見学先ごとに担当を決め、写真撮影とコメントを作成してもらい、動画・録音担当が、のちのWEB報告会に備えた。

【事例4】北海道建築士会

北海道建築士会女性委員会は、今年6月にインスタグラムを開設した。女性建築士の好物である、美味しそうな食事、素敵な建物、景色は必須。

【事例5】福島県建築士会

福島県建築士会福島支部の秋の風物詩である「芋煮会」の様子をダイジェストで紹介。コロナ後は、こうした会員同士の交流を目的とした行事にも参加人数が少なくなっており、一度も参加したことがない会員へのいざないが課題となっている。

今回のセッションを通じて、会員増大のために全国で試行錯誤されていることがわかった。

人口減少の中で会員数増をめざすのがなかなか困難であるのは言うまでもない。そこでポイントになるのは、多様な参加の受け皿と、内容の充実、活動の楽しさにあるようだ。

ぜひ、ひとつでも持ち帰りバージョンUPの波、ウェーブを起こしましょう!



愛知建築士会の入会案内リーフレット



兵庫県建築士会のWEB報告会

日時…令和5年10月27日(金) 10:00~12:00

会場…グランシップ 9階 910会議室

参加者…61名